

【質疑要旨】		報告者	政策企画課	甲佐
名称	富士見市地域説明会(1日目)			
日時	令和2年9月18日(金) 19時00分～20時50分			
場所	鶴瀬小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

### 【意見・質疑応答】

#### ■質問者

公園は少ないが、農地が多いことが地域の財産になっていると思う。相続などに伴い、農地が住宅などに変わっているが、緑が減るという点で問題があると思う。市が中心になって、農業振興と合わせ、農地の保全に向けて取り組んでほしい。

#### ◆市長

農地は生産基盤としてだけでなく防災上・景観上も重要なものとして捉えています。若い農業従事者も増えていることから、市としては、農業従事者が農業で頑張っていける地域としていくため、これからも農業者への支援に力を入れていきたいと考えております。

#### ■質問者

避難所として活用する体育館には、クーラーを設置する必要がある。

#### ◆市長

クーラー設置については陳情なども頂いているため、教育委員会で具体化できるよう検討してまいります。

#### ■質問者

鶴瀬小学校内に町会で手入れをしている植栽があるが、担い手が少なく管理が難しくなっている。教育委員会や学校が協力し、業者に任せるなどしながら管理してほしい。また、市内の学校の植栽管理計画などはあるのか。

#### ◆教育部長(総務)

現在、植栽の管理は教育委員会教育政策課が担当しています。支障のある樹木についてはそれぞれの学校から要望を伺い、剪定・伐採等を行っています。管理計画としては、要望を受け、現地確認をした上で優先順位をつけながら対応を進めています。

#### ■発言者

児童の飛び出しが危険な箇所があったが、道路治水課に相談したらすぐにミラーを大きいものに交換してくれて助かっている。

#### ■質問者

水害対策については、市役所庁舎が浸水することも想定して対応を検討してほしい。

#### ◆総務部長

災害発生時は災害対策本部を市役所に設置しますが、荒川が氾濫するような状況となれば、鶴瀬公民館などの代替の設置場所を定めています。

避難訓練については、図上訓練を行うなど様々な形で実施していきたいと考えております。

■質問者

市役所庁舎が老朽化していて、職員の方も大変ではないかと思う。

◆市長

市役所庁舎の状況を調査したところ、耐震性能などで厳しい状況にあることが分かっており、庁舎を建て替えていきたいと考えております。詳細については、これから決めていく段階ですので、改めて内容をお示しして、ご意見を頂きたいと考えております。

■質問者

シティゾーンの産業団地整備について、用地を取得する際、住宅地と農地どちらを買収する方が費用としてかかるのか。

◆市長

費用については場合によって条件が異なります。

産業団地は、埼玉県企業局が買収・造成を行い、事業者へ売却する形となります。シティゾーン内でこれから用地取得が必要な箇所がありますが、取得に際しては法律に則ってしっかり対応していきます。

以 上

【質疑要旨】		報告者	まちづくり推進課	室本
名称	富士見市地域説明会(2日目)			
日時	令和2年9月23日(水) 19時00分～20時50分			
場所	水谷小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

### 【意見・質疑応答】

#### ■発言者

昨年、水害が発生したが、自然災害はいつ起こるかわからない。地域に住んでいる人の助け合いが必要である。また、水谷地域は、新しい住民が増えており、地域に住んでいる7割近くは新しく来られた方だと思う。一役員としては、新しい方が町会に来られた場合には、地域で歓迎し、コミュニティの形成を図っていきたい。

国道254号バイパスの整備が進んでいる。これが完成すると水谷地区も変化があると思う。5年後、10年後に、より良い水谷地区のまちが出来るよう、また新しく来た人とコミュニケーションを図りながら、まちづくりができるようにと思っている。

#### ■質問者

第1期基本計画の分野1の子ども・子育て支援のことでお伺いしたい。保育所待機児童数が現在27人でR7年度までに0人にしたいということだが、27人を0人にするのに5年かかるものなのか。

#### ◆市長

市としては、人口を増やす施策を行っており、人口が増えれば、保育所が足りなくなるという実態があります。また、保育所の空き状況と、行きたい保育所のミスマッチも生じています。その辺りの状況をふまえながら対応を進めてまいります。

#### ◆子ども未来部長

待機児童については、4月1日時点で27人発生していますが、市内全部の保育所は48人分空きが出ています。そのため、子どもたちの受け皿整備としては一定水準に達していると考えています。しかし、行きたい保育所がどこなのかという所と、年齢別のアンバランスによるミスマッチが生じている実態もあります。今後の方針として、0歳・1歳・2歳の保育を行う小規模の保育施設を1つ作る予定です。5年かかるということではなくて、その推移を見ながら整備を進めていく形でご理解をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

以上

【質疑要旨】		報告者	政策企画課	甲佐
名称	富士見市地域説明会(3日目)			
日時	令和2年9月25日(金) 19時00分～21時00分			
場所	南畑小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

### 【意見・質疑応答】

#### ■質問者

第6次基本構想の計画期間は、令和22年度までという認識でよいか。

#### ◆政策企画課

基本構想は令和3年度から令和22年度までの20年間の計画期間です。令和23年度からは次の基本構想が始まることとなりますのでご指摘のとおり、令和22年度までが第6次基本構想の期間となります。

#### ■質問者

本地域は、農業地域のため、そのあたりについて詳しく教えてほしい。

#### ◆市長

継続的に農業を行っていただいている方には、農業支援を行います。産業振興基金を活用した農業分野に関する支援策を計画にも入れております。そのほか、人・農地プランの対象面積の拡大や、認定農業者等チャレンジ支援事業補助金を活用した後継者の育成、スマート農業など、農家の皆様の支援を行っていきます。

また、集落等の維持についても、皆様からご意見をいただいておりますので、下水道などについても整備を進めます。

#### ■質問者

南畑地域の交通網の充実をより一層図っていただきたい。

#### ◆市長

高齢者をはじめとした、全世代の皆様がスムーズに移動できる交通環境を確保しなくてはならないと考えています。民間事業者や市と連携しながら公共交通の充実を図ってまいります。

#### ■質問者

都市の防災まちづくりについて農地を保全して遊水機能を確保するのはよいが、本地域は水田と住宅の高さがほとんど変わらないため、すぐに溢れてしまう。そのため、将来的には排水施設の整備など、水害対策の充実についても計画に入れてほしい。

#### ◆市長

南畑地域の水田の遊水機能については、大変ありがたく思っています。一方で、南畑地域にお住いの皆様にとって、水害対策については、生活する上で重要なことと思います。雨水処理については、国土交通省や埼玉県も大きく予算を付けて取り組むとしています。また、荒川排水機場についても、これまで以上に高度な運用に取り組むという説明を受けています。市としても、まずはできることから進めていきたいと考えています。

◆建設部長

内水については、市の責任ですが、その対策については、荒川の調節機能が必須になるため、引き続き、現状把握を行うとともに、機能強化を国に要望していきます。

■質問者

南畑地域には、たくさんの分譲住宅ができています。10棟以上などの規模の大きい住宅地を建てる場合はごみ集積所の設置義務があるため、建設業者が集荷所を作っているが、規模が小さい開発だとごみの集荷所がない住宅もある。そのため、新しく町会に引っ越してきた方が、隣の分譲住宅の集荷場に出そうとして断られたと言っていた。これについては、断られて当然のことであるが、住宅地の開発の際には、どこにごみを出すのかというところまで、確認をお願いしたい。

◆自治振興部長

住宅の建設の際には、富士見市ごみ集積所要綱に基づいて事業者が集荷所を設置しています。戸建ての開発の対応については、庁内でも議論をしてみたいと考えます。

■質問者

災害時の避難指示について。台風19号の際に、避難指示が出た・出ていないという話を聞いた。また、避難場所も、明確に伝わっていないようである。ご高齢の方が一人でお住いになっている住宅もあるので、一人で避難できない高齢者を誰がどのように避難を手伝うのかという点について考えを聞かせてほしい。

◆市長

さいたま市と富士見市の警報等の取扱いの違いがあったのではないかと思います。台風19号の際にも、荒川上流河川事務所と協議を行っていました。その中で、危険水域まで来ているが、数時間後には水位が下がるとの情報を得たこと、またその時、深夜であったこともあり、警報を出さないという決断をしたところです。また、同時刻にパトカーも巡回していたということも聞いております。ご心配をおかけした点については、反省しております。

◆総務部長危機管理監

避難の際に、支援が必要な方々については計画書を作成しているので、そちらをご確認いただきたいと思います。避難が困難な方については、協定を締結しているバス事業者と協力をして、避難をできるようにということも考えております。

■質問者

南畑地域の将来像について、何も変わらないという内容に見える。市街化調整区域であっても開発されている土地もあるが、新たな土地利用の考え方はどうか。

◆市長

市街化調整区域は、言葉のとおり、市街化を抑制する区域であり、どこにでも住宅を建てることのできるという地域ではありません。

しかし、富士見市全体として、シティゾーンや国道沿いのゾーンについては、市街化調整区域でありながらも、市の成長のための用地として指定して、整備を進めていきたいと考えています。南畑地域については、平成25年に当時のまちづくり協議会や南畑地域の皆様と協議をして、都市計画法34条11号により、開発できるエリアとしました。それから5年経ち、環境が大きく変わってきたこともあり、エリアを拡大することは難しい状況です。

一方、下水道の整備については、継続して計画通り進めていくこととしています。そ

のほか、道路の拡幅整備も進めています。また、時代の流れが変わり、調整区域での開発が認められるようになることも考えられるので、その際に地域指定ができるよう、下水道整備や道路の拡幅整備を進め、環境を整えていきたいと考えています。

#### ■ 質問者

小中学校の明かりが、夜 21 時を過ぎてもついていることがある。子どもの問題や仕事の体制もあり、先生方も大変だと思うが、労働時間についてどのようになっているのか教えてほしい。

#### ◆ 教育長

教員の大変さや労働時間の長さについては、私も理解をしております。これから、国をあげて改善を図っていきこうと動き始めたところです。教育委員会としても、教員の定数の改善について、国に訴えていきます。また、富士見市としては、学校支援員などを地域で雇用し、学校に配置するなど、できることを進めていきたいと考えています。

また、新型コロナウイルスの影響で、教員の仕事が増えているという点については、国の補助も入っています。スクールサポートスタッフとして、先生を支援する人、学習を支援する人を各学校に配置するというのを、9 月より進めていますが、教員も熱心なため、長い時間子どもたちのために働いているというのも事実としてあります。引き続き、ご支援をお願いいたします。

#### ■ 発言者

水害の際には、早めの避難が必要であるが、避難をするための道路が低くなっており、真っ先に水没するような状況になっている。道路が冠水していると、避難できないので、道路の改善をお願いしたい。

以 上

【質疑要旨】		報告者	まちづくり推進課	室本
名称	富士見市地域説明会(4日目)			
日時	令和2年9月28日(月) 19時00分～21時00分			
場所	関沢小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

### 【意見・質疑応答】

#### ■質問者

市には駅周辺の電線を地中化する計画はあるのか。

#### ◆市長

具体的な計画はありませんが、景観形成という観点からもきれいなまちを作っていきたいと思っています。今後、景観や防災などを考慮しながら検討させて頂きたいと思います。

#### ■質問者

この10年間の間に、東武東上線の東西を通行できる道路の整備をお願いしたい。また、東武東上線は人身事故が多く、踏切が通れなくなることも多いため、早期の立体交差化をお願いしたい。

#### ◆市長

東武東上線の立体交差化に関する要望活動は行っていますが、大きな事業費が必要であり現状進んでいないことから、鉄道の東西交通は都市計画道路の整備によって確保していきたいと考えています。

#### ■質問者

駅のホームドア設置についてはどういった状況なのか。

#### ◆市長

東武鉄道は乗降客数が10万人以上の駅を優先して整備していく方針としており、本市の駅は和光市・朝霞台・志木・川越などの各駅に続きます。ホームドア設置については今後も要望活動を行うとともに、乗降客を増やす取組を進めてまいりたいと考えています。

#### ■質問者

キャッチフレーズの『みんな笑顔☆ふじみ』については、挨拶からはじめた方が笑顔や活力につながると思う。

#### ◆市長

ご指摘いただいた通りで、市民の皆さんが富士見市に対する郷土愛を持っていただくことが大事だと考えています。

#### ■質問者

みずほ台駅西口駅前のメイン道路が浦和所沢線に通じていない。三芳町の管轄となると思うが、市と町で連携して直結させてほしい。

◆市長

行政境の道路の整備については調整事項が多く、どうしても後手となってしまっています。隣接市町としっかりと意思統一を図りながら頑張っていきたいと思います。

■質問者

ロードネームを3路線認めていただいております。

◆自治振興部長

針ヶ谷地区のロードネームについてはみずほ台駅西口地域まちづくり協議会からご要望頂きました。現在看板設置の準備を進めており、もうすぐけやき通りの看板が設置予定となっております。

■質問者

企業への応援金の申請が打ち切られて数日経つが、売上高が前年同月と比べて30%以上50%未満減少した企業者に限定されており、国の持続化給付金と併用できないため、他市と比較して支援が少ない。市として対応を検討してほしい。

◆市長

応援金の期日については、延長するよう担当課に指示させていただきました。応援金については、自助努力を促していきたいと考えており、全事業者に応援金を給付することは難しいため、30%以上50%未満のところでは支援させていただき、50%以上の減少があった事業者には国の持続化給付金を活用頂くという制度設計をさせていただきました。

■質問者

都市計画マスタープランで公共交通の充実とあるが、東武東上線の西側は循環バスが通っておらず、特に関沢2・3丁目は不便な状況であるため、対応を検討してほしい。

◆市長

循環バスについては限られた予算の中で運営しています。循環バスを含めた公共交通については、市民・事業者・専門家からなる公共交通会議を開いて検討しており、しかるべきタイミングで循環バス路線についても議論させて頂きたいと考えております。

市としては、にぎわいの拠点や働く場を新しく形成していくことで、路線バスの拡充や一般事業者のご協力を得ながら利便性を上げていきたいと考えております。路線バスが行き届かないところを循環バスやデマンドタクシーを充実させて、複層的にカバーしていきたいと考えております。

■質問者

小中学校の教室にエアコンを設置してほしい。

◆市長

小中学校の普通教室は全てエアコンを設置済みですが、特別教室についてはまだその段階には至っていないため、課題として受け止めさせていただきます。体育館については、災害発生時の避難所としての利用も考慮し、エアコン設置に向けて検討を行っています。

■発言者

都市計画マスタープランでは7地域に分けて方針を整理しているが、6つの中学校区で連携を強化していけば良いと思う。

■発言者

恵愛病院から志木市側へ、柳瀬川をわたる人道橋を整備してほしい。



■ 発言者

医療について、救急車の現地到着が平均より遅い点、小児外科が不十分な点を改善してほしい。

◆ 市長

今年度は救急車を1台購入しています。救急車の増台については、運用する消防署員の増員も必要となるため、費用面も含め検討しています。また、みずほ台駅東側にある富士見分署を浦和所沢バイパス沿いに移設し、救急車を配備予定ですので、現地到着時間やカバーする範囲も変わってくるのではないかと期待しています。

小児外科については、イムス富士見が小児科に力を入れて頂いているという点と、近隣市町に立地している病院との協力でカバーしていくことが大事だと思います。医療の充実については様々なネットワークを通じて要望し、具現化できるようにしていきたいと思います。

■ 発言者

洪水発生時に側溝があふれるなど危険な箇所を図面化して掲載すると避難にも役立つのではないかと。

◆ 建設部長

現時点では具体的な箇所は把握していません。特に危険な箇所が発生しないように日ごろからパトロールを行い、維持管理を徹底していきたいと考えております。

以上

【質疑要旨】		報告者	まちづくり推進課	室本
名称	富士見市地域説明会(5日目)			
日時	令和2年9月30日(水) 19時00分～20時40分			
場所	諏訪小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

### 【意見・質疑応答】

#### ■質問者

分野3 学校教育の「主な施策・取組」と「主な指標」の整合がとれていないように感じる。施策・取組と指標についての、それぞれは良いと思うが、学力の向上や職員の質の向上に向けての施策に取り組んだ成果を確認する指標が、アンケートによる学校に行くのが楽しいと回答した児童生徒の割合というのは、合致していないのではないか。

少人数学級制度や副担任制の導入はいかがか。

#### ◆市長

ご指摘の通り、学力の向上ということであれば、点数を指標とする方がわかりやすいのですが、まずは、「学校に行きたい」と思える環境づくりが勉強への関心や友達とのふれあいを育むためには必要だと考え、そのような指標としました。

少人数学級制度や副担任制は、良い取組ですが、大変大きな予算がかかるため、市費でまかなうことが難しいのが実情です。そのため、文科省や埼玉県などに、予算処置をお願いすることが必要です。すぐにできる取組として、市民の皆様をはじめとした、スクールサポートスタッフの配置を行っています。学校教育の充実については、引き続き取り組んでまいります。

#### ◆教育長

子供たちひとりひとりに寄り添って教育をさらに充実させるためには、教員の数を増やすということが抜本的な改革になると、私も思っております。これについては、教育長会を通じて、国・県に要望を行っています。

本日の説明では割愛していますが、知・徳・体がバランス良く成長することは大切なことだと捉えており、計画書には細かな計画についても載っておりますので、市HP等でご覧いただければと思います。

市ができることとしては、支援員を増やし、教員をサポートする姿勢で取り組んでまいりますので、ご理解をいただければと思います。

#### ■質問者

防災について、災害時にはお互い助け合おうという話をしている。そのためには、防災の技術を持っている人を育てることが重要である。例えば、災害時にブルーシートがあっても、屋根にかけられる技術がない。防災の技術を持っている人と提携しているなどの情報があれば教えてほしい。

#### ◆市長

災害から身を守ることや災害後の復旧について、地域包括連携協定などを結んでいますが、建設や建築に対する技術については、まだ十分なものはありません。ご指摘いただ

いた内容をヒントと捉え、防災に関するまちづくり協議会をつくるなど、地域の中で様々な技術を教え合う仕組みを構築できればと考えます。また、仕組みづくりについては、市の役割だと思しますので、課題解決のために取り組んでまいります。

以 上

【質疑要旨】		報告者	政策企画課	甲佐
名称	富士見市地域説明会(6日目)			
日時	令和2年10月2日(金) 19時00分～21時00分			
場所	水谷東小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

### 【意見・質疑応答】

#### ■ 質問者

- ①水谷東地域では去年の台風19号で多くの家屋が浸水し、被害が出た。この被害は、内水による被害である。柳瀬川沿いの田を横断する都市計画道路を造ることにより失われる田の貯水能力等の低下が心配である。
- ②この都市計画道路の計画根拠を教えて欲しい。もし渋滞緩和のために都市計画道路を建設するのであれば、都内に続くバイパスの完成を見て車両の数、流れ、行き先、渋滞状況などを調整してからでも遅くはないのではないか。
- ③都市計画道路の工事は、住民との話し合いを十分に行った上で影響を受けるであろう地域の住民の理解と納得の上で進めることを要求する。
- ④水谷柳瀬川ゾーンの開発について、当初はこの開発にあたっては、水谷東地域の水害を無くすための調整池が必要だと提案があった。現在も調整池を含む内容になっているのか。
- ⑤この開発計画の土地の高さを教えて欲しい。

#### ◆ 市長

- ①去年の台風19号、平成28年の台風9号の時など、内水における被害ということは、おっしゃるとおりだと思います。市としては、水谷東地域や東上線西側の針ヶ谷地区の流域の雨水が新河岸川、別所ポンプ場に流入してくるため、別所ポンプ場の増強を図っています。また、市としては、針ヶ谷地区の雨水を東上線西側で柳瀬川に流すことができないか、河川管理者の埼玉県と考えています。  
台風19号の状況を踏まえて、今後も対応政策、事業を進めていきたいと考えています。
- ②富士見橋通り線、水子鶴馬通線、さらに国道254号バイパスが整備されることにより、地域で交通量の多い箇所の交通事情も変わってくると考えています。  
一方、地域の交通安全や道路などについては、市民の皆さんからアンケートで多くの意見をいただいているところです。  
都市計画道路を整備することにより、通過交通等は都市計画道路へ流れていくことによる渋滞の緩和や、市民の皆さんの速やかな南北や東西方向への移動にも資するものと考えています。
- ③水谷柳瀬川ゾーンの開発など成長のエンジンについては、しっかりと進めてまいります。そして、この成長により得た税収を高齢者対策や子どもたちのための対策にしっかりと使って参りたいと思います。市民のみなさんがこの富士見市で充実した日々を送っていただくため、総合的に勘案しながら進めてまいりたいと考えております。
- ④水谷柳瀬川ゾーンの開発は、まだ具体的なものはありません。ただし、現在の田んぼに何か造れば、調整池を造ることが義務づけられています。県と共に我々もチェックして、この地域の雨水対策に向けて頑張っていきたいと思っております。

- ⑤水谷柳瀬川ゾーンの開発による土地の高さなどは具体的なことは決まってないので、今お答えすることはできません。

■質問者

都市計画道路の計画高はどの程度か。

◆建設部長

浦和所沢線から水谷大排水まで下がりながら、一番低いところで現在より1mほど上がります。そこから富士見橋に向けて上がっていきます。

■質問者

- ①分野12番等の地域コミュニティについて、コロナに対する公共施設の整備に関して、来週ぐらいに会議を開くとのことだが、公共施設は市民にとって憩いの場所など一番大切である。1日も早く結論を出して頂いて、安心できる場所を設けて欲しい。
- ②分野29番の危機管理について、荒川が氾濫した場合、市役所は耐えられるのか心配している。いずれは建替わると思っていたが、今日も話は出なかった。分かる範囲で教えて欲しい。

◆市長

- ①コロナの状況は良くなっている面もあります。国の制限も徐々に解除されてきています。市としては、キラリ☆ふじみや公民館なども国にならいたいところですが、お使いいただく皆さんにもやるべきことを今一度徹底していただきたい。それによって少しずつ制限を解除していきたいと考えています。近いうちに発表させて頂きたいと思います。
- ②数年前から治水橋上流で国土交通省が荒川第2・第3調整池整備をスタートしています。これら調整池により台風19号以上の雨が降れば調整機能が発揮されると思っています。また、これまでの反省から国土交通省荒川上流事務所が音頭を取って熊谷市、川越市、富士見市、志木市など16市5町で荒川水系流域治水協議会を立ち上げました。予算も1,650億円つけているので期待しています。この完成までは、我々地域で出来る事を一生懸命やるということだと思っています。
- 公共施設は現在全体を見直しています。その中で1番重要なのは市役所だと思っています。職員の数に対して手狭、会議場所がない、震災の際の避難場所がないなど、心許ないと思っています。長寿命化を図るのか、新築するのかなどこれから判断させて頂きます。新築する場合は、どこが適当かなども総合的に判断していきます。

◆総合政策部長

公共施設マネジメントでの観点では、市内に様々な公共施設がありますが、これから老朽化が進んでまいります。そのため、どのように整備をしていくか、あるいはどのように皆さんに安全に利用していただくかということを検討しています。その中の1つとして庁舎も検討しています。庁舎は外観もそうですが、中の水道なども老朽化しています。修繕が良いのか、建替えが良いのか現在研究しております。しかるべき時に皆様にご報告させて頂きます。その後、庁舎については、皆様とともに検討させて頂いて方向性を見出していきたくと思っています。

■質問者

6次の基本構想は立派に出来ていると思うが、最初の「市民の共通目標として設定」とあるところが気になった。

「自らの歩みで」とあるが、充実した日々を有意義に脈々と送れる方もいらっしゃるかもしれないが、ものすごく苦労してもなかなかそうは出来ない方もいる。そのため、市が市民の皆さんを応援しますというような言葉があると安心できるのではないかと思った。

◆市長

自らの歩みで充実した日々を送るということは十人十色のお考えがあらうかと思えます。何を指すのかどうしたものが充実した日々なのかということは具体的には申し上げられません。しかしながらご指摘いただいたとおり、それぞれの皆さんの目標や充実した日々を支援することは、我々の役割なので、しっかりと支援をさせていただきます。

とりわけ生活が厳しい、先ほど申し上げた子ども達に対して、学力をしっかりとつけて高校へ送り出すということが現在の義務教育を負う我々の責任だと思えます。そうした環境、経済的に弱い皆さんのご支援をするということは、手厚くさせていただきます。

そして皆さんの思いある充実した日々を実りある暮らしやつながり、生活環境ステージをしっかりと整えることにより、現実をつくっていくお手伝いをさせていただこうと思っております。

頂いたご意見を反映させながら施策を進めさせていきたいと思えます。

以 上

【質疑要旨】		報告者	政策企画課	甲佐
名 称	富士見市地域説明会(7日目)			
日 時	令和2年10月5日(月) 19時00分～20時45分			
場 所	ふじみ野小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

【意見・質疑応答】

質疑なし

以 上

【質疑要旨】		報告者	まちづくり推進課	室本
名称	富士見市地域説明会(8日目)			
日時	令和2年10月7日(水) 19時00分～21時00分			
場所	つるせ台小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

### 【意見・質疑応答】

#### ■質問者

空き家や高齢の方の住宅等の木が道路に飛び出して交通安全上良くない。市から連絡、指導してもらえないか。

#### ◆市長

民地なので、まずは所有者の方に善処して頂くことが必要と考えております。改善されない場合は、市で指導させていただくこととなります。

#### ■質問者

西出張所が3月をもって閉鎖との噂を聞いた。近くに移転するのか。鶴瀬西地域は高齢化しているのでぜひ作ってもらいたい。

#### ◆市長

西出張所は、来年の3月31日をもって一時閉鎖させていただきます。ハローワークを目的に来られる方もいらっしゃることから、代替は現在調査研究、検討しています。決定次第ご案内させていただきますので、是非御理解をいただきたいと思っております。

#### ■質問者

循環バスを是非東上線西側の方に走らせて欲しい。  
東上線東側に2台循環バスがあると思うが、その経費はどのくらいか。1台増やすのに予算はどのくらい増やせばいいのか。

#### ◆市長

公共交通の充実については、多くの皆様方から鶴瀬西だけではなく、南畑地域の皆さんをはじめ、ご要望をいただいております。

一昨年、社会実験ということでデマンドタクシーの導入を半年間やらせていただいて様々なデータを取り試験運行から本格運行に移行いたしました。

デマンドタクシーは循環バスを補完する手段として私どもは現在位置づけています。現時点では、循環バス、デマンドタクシー、鶴瀬駅から市役所とららぽーと間の東武バスの体制ということで御理解をいただきたいと考えております。

今日、ご説明致しましたが、今後、拠点づくりや人口増加政策に打ち込んでまいります。賑わいを作ることで新たな民間のバス事業者の運行などを求めていきたいと考えています。そうすれば、循環バスの路線を再編できるのではないかと考えております。公共交通会議を設けており、循環バス、デマンドタクシー、民間バスなどのデータを取り、3年に1度、次の対策を議論しています。そのようなものを活用しながら、試行錯誤して行きたいと思っております。



◆建設部長

循環バスの運行経費について、詳細なデータは持ち合わせていないが、2台で約2500万円程度だったかと思われます。次の公共交通の検討は令和4年度を予定しております。その際は、市の地域全体的にそのあり方について検討していきたいと考えております。

◆市長

運行経費の他に、先日交換したバスはラッピング等綺麗にして別途1台2000万円程度かかっています。

■質問者

我が家の近くに5軒の空家が出ているが、空家対策を市ではどのように考えているのか。

◆市長

空家対策の審議会が私が会長で、有識者、関係者（警察、消防などの代表者）で組織しています。

空家はこれからも増えるでしょう。先程の木についての質問もそうなのですがぜひご連絡いただきたいと思います。私どもはこれをパトロール、調査して空家の判定をし、A、B、C、Dのランク付けをします。そのランクに合わせたご指導をさせて頂いております。特にDランクになりますと近所にご迷惑がかかる又は地震のときに崩れてしまうので可能性が高いので、最終的には特定空家として認定し、これを強制的に解体するという対応が可能となります。

利活用については、埼玉県の不働産業協会との連携や空き家バンク、隣接する方が購入する場合の補助制度を設けているところです。

■質問者

学校や公共建築物などの維持管理に多くの費用がかかると思う。今後の考えを聞きたい。

◆市長

まさにこの20年はその課題を公共施設マネジメントとして取り組む時になったと考えております。

◆総合政策部長

公共施設マネジメントの観点からすると、学校の老朽化したところについては、大規模改修など長寿命化を図ってまいります。

今後児童生徒の数が減少していく事が考えられます。教育委員会において学区や児童数などを見定め、今後の方向性を検討してまいります。

■質問者

西口の区画整理が終わって、交番の脇に道路が出来たが、現状通行止めになっている。その後の進捗などを教えて欲しい。

◆市長

土地区画整理事業はまだ施行中でございます。ご指摘の道路については、関係地権者のご理解を頂く努力をしておりますので、もう少しお時間をいただきたいと思います。交渉事なので、残念ながらいつという数字を申し上げられないのは事実でございます。

■質問者

これから選ばれる街ということだが、どんな人に選ばれたいのか。

また、コミュニティづくりで具体的な策があったら教えて欲しい。

◆市長

20代後半から30代40代位までの皆様が住宅を買い求めて、またはマンションを賃貸

して、富士見市をお選び頂くというケースが今増えているので、今後もこの世代をターゲットにしていきたいと考えております。従いまして、今後も子育て、学校教育などに力を入れてまいりたいと考えております。

シティプロモーションについて、民間の皆さんのお力を借りてパンフレットを作りました。これを池袋駅などに置かせていただいて富士見市を知って頂こうと考えています。また、現在検討中ですが、シティプロモーション課というのを設けたいと考えており、さらにPRに力を入れていく予定となっております。

コミュニティづくりについては、現在、富士見市も大学やコカコーラなどの様々な企業、銀行関係のみなさんと様々な知恵を交換し、持っている力を借りてまちづくりに取り組もうということで連携協定を結んでおります。

#### ■ 質問者

今後も、富士見市を選んでくれるという方を増やしていくという方向性でやっていくという認識で良いか。

#### ◆ 市長

そのとおりですが、実は富士見市から出て行く方の行き先で1番多いのは三芳町、ふじみ野、川越市です。富士見市に入ってくるのは志木市、朝霞、和光、練馬区、板橋区が多い。

富士見市から出て行く方は入ってくる方より上の年代です。富士見市の地価は今高くなっています。30代半ばから40代半ばぐらいの方が住宅を求めて出て行く。我々は魅力を作り、またそれを高めていく磨きをかけていくことが必要だということを肝に銘じているところです。

#### ■ 質問者

基本構想が充実した日々を送れるような富士見市にするということだが、線路の東側はスポーツ施設や自然公園、商業施設などあるが、西側あまりない。商店街も減ってきている。高齢者は遠い施設は利用しにくい。西地区では高齢者が充実した日々を過ごしにくい状況があるかと思う。

高齢者が文化活動、スポーツ活動などできる施設が西地区は非常に少ないと思うのだが、充実した日々を目標にするならば西地区にもそのような施設を考えてもらいたい。

#### ◆ 市長

おっしゃるとおりですが、西地域に東側と同じものを持つてくるということは難しいと考えております。また、皆さんが自由に移動できる、買い物ができるための移動手段の問題は、これから高齢化が進むということは間違いない事実ですので、重要になってくるものと考えます。拠点作りや賑わいづくりを進めることにより、民間のバス事業者の参入や循環バスを充実させることなど今後、解決策を見出していきたいと考えております。

私見ですが、学校の敷地や建物は宝です。ただ学校としての役割は終わるかもしれません。そうなった場合、例えば、交流センターなどは学校の敷地に整備するという考え方もあるかもしれません。また教室を改良して地域のみなさんに使っていただくなども考えられます。

以上